



## 第四十一号

発行日 令和四年十二月一日  
発行者 石高神社 宮司 高原 章兆  
発行所 岡山市中区円山八五三  
電話 〇八六一二七七一九〇〇三

### お伊勢さまと氏神様

神宮大麻全国頒布百五十年

伊勢の神宮のお神札を「神宮大麻」といい、全国の神社でお頒ちしています。

明治五年、明治天皇の思し召しにより全国に神宮大麻が頒布されるようになってから、令和四年で百五十周年を迎えました。明治時代までは、伊勢の御師と呼ばれる人たちがお祓い大麻を頒布していました。江戸時代には約九割の家庭で大麻をおまつりしていたとされます。

伊勢の神宮は、神社の中でも特別な存在のお宮で、皇室の御祖神である天照大御神をおまつりしています。天照大御神は、太陽のように私たちを見守り、育んでくださる神様です。

氏神さまは、私たちをお守りくださる身近な神様です。日本では代々、祖先に縁の深い神様や地域を

お守りくださる神様を氏神様としておまつりしてきました。

日々の暮らしの中で、神さまに感謝と祈りを捧げるおまつりは、道徳心を養い、平和な社会生活をもたらししてきました。お伊勢さまと石高神社のお神札は、神社または町内の頒布でお受けください。

### 屋根葺き替え 御寄進状況

社殿屋根葺き替えの御寄進額は十月末の時点で七〇一万円です。この一年間には、六〇万円の御寄進を賜りました。しかし、目標額には大きく不足しています。ひきつづき社務所にて随時ご寄進の受け付けをいたしておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

コロナ禍がある程度落ち着いた後には、再度御寄進のお願いをさせていただきます予定です。

# 恒例行事

正月一日は、初日の出を拝んだあと、歳旦祭の祝詞を奏上します。その後夕方五時頃まで新年祈禱を承ります。昨年から歳旦祭の時刻を変更しています。



どんど祭



境内から拝む初日の出



輪くぐりの輪をつくりました



3日 初詣での境内の様子

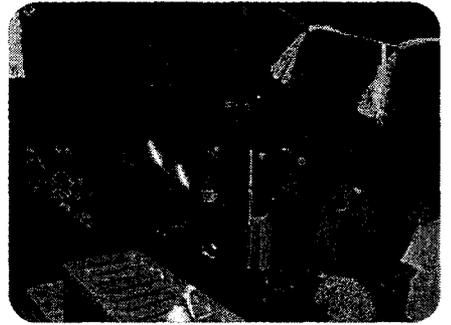
輪くぐり祭は、毎年七月三十一日の晩です。秋祭の氏参りは、毎年十月三日の晩です。この日だけ夜店が出ます。

## 令和5年の厄年祝年

厄年祝年	生まれた年*
女19歳	平成17年
男25歳	平成11年
女33歳	平成3年
男42歳	昭和57年
還暦祝	昭和38年
古希祝	昭和29年
喜寿祝	昭和22年
傘寿祝	昭和19年
米寿祝	昭和11年
卒寿祝	昭和9年
白寿祝	大正14年
百寿祝	大正13年

\*生まれた年は数え年

どんど祭は、一月十四日以降の最初の土曜または日曜にしています。毎年十四日から十九日の間の土曜日または日曜日にするようになります。  
厄除け祈禱は、節分の頃までにお参りください。混雑を避けるため、できるだけ一日以降にお願いします。



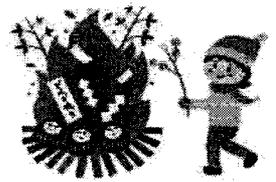
秋祭り氏参り



5日 秋祭り祭典

どんど焼き

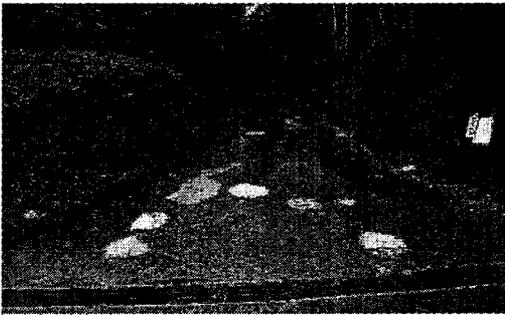
令和五年一月十四日(土)  
十時からです。



針金とプラスチック類の飾りは、はずしてください。金銀紙も燃え残るのでできるだけ外しています。神札とお守りは納札箱に入れてください。

### 自動車参道の舗装修理

北側から宮山に上る自動車参道のアスファルト舗装の復旧工事を十月に行いました。特に下半分の傷みが激しく、アスファルトが剥がれたり、穴ぼこが大きくなってきていました。このため、下から三〇メートル分の修理実施を秋の総代会で決め



舗装前の様子

ました。

工事は地元の水正工業に依頼し、費用は九七〇、二〇〇円でした。支払い金は、町内を通じて頒布していたただいたご神札頒布金の平成二十八年度分六〇三、二〇五円と二九年度分五七六、〇二二円の一部を充てました。



舗装後の様子

Q&A

⑧

お守りたくさん持っていて神様どうしけんかしない？

神様のことなので、人間の立場からあれこれ言えることではありませんが、お守りを複数持っていて『神様同士がケンカするということはない』と考えてよいと思います。

ただ「たくさん持っているから大丈夫」というような考え方は望ましくありません。お守りを信じる気持ちや大切に思う心が一番大事です。

# 境内の生物⑬ ススキ

イネ科の多年草で秋の七草のひとつに数えられています。花穂が動物のしっぽを思わせることから、オバナの名で万葉集時代から歌に詠まれてきました。カヤとも呼ばれ、屋根の材料や輪くぐりの輪の材料として用いられてきました。大きな群落を形成します。



## 石高神社への道案内

当社の南側と西側には、石段の参道があります。自動車でお参りの折には、宮山の東側を山に沿って進むと北側から山に上がる道があります。少し上った左側の空き地または本殿の裏に駐車できます。正月の昼間には混雑が予想されます。帰る方を優先に譲り合いをお願いします。また、宮山の東北のカーブは見通しが悪いのでお気をつけください。

ホームページ <http://ishitakajinjya.web.fc2.com/>

